

令和 2 年 度

西脇多可行政事務組合

一般会計決算審査意見書

西脇多可行政事務組合監査委員

西多行監報第3号
令和3年9月22日

西脇多可行政事務組合
管理者 西脇市長 片山象三様

西脇多可行政事務組合
監査委員 高瀬英夫
同 美土路祐子

令和2年度西脇多可行政事務組合一般会計決算審査意見
書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により、令和2年度一般会計の決算及びその附属書類について審査した結果、別紙のとおりその意見書を提出します。

令和 2 年度

一般会計決算審査意見書

第 1 審査の対象

令和 2 年度

西脇多可行政事務組合一般会計歳入歳出決算

第 2 審査の期間

令和 3 年 7 月 27 日から令和 3 年 8 月 26 日まで

第 3 審査の方法

審査に付された決算書及び決算附属書類の計数等の正否の確認並びに必要に応じて求めた決算に関する資料に基づいて、予算執行の適否及び決算経理について、関係職員から事情を聴取する等の方法により審査した。

第 4 審査の着眼点

定期監査時に提出を求めた「財務に関するリスク評価シート」から各課一項目を抽出し、そのリスク発生に対する対応（防止）策等を確認した。

第 5 審査の結果

本審査の対象となった歳入歳出決算書及びその附属書類は、いずれも関係法令に基づいて調製されており、その計数には誤りがなく適正であると認められた。

審査の概要と意見は次のとおりである。

- (注) 1 文中及び各表中の金額は原則として千円単位としたため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 文中及び各表中の比率は原則として小数点以下第 1 位までとしたため、比率の計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 各表中の「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。

1 決算の概要

一般会計の決算状況は、

予 算 額	4 1 7 , 4 1 0 千円
歳 入 決 算 額	4 1 9 , 3 9 7 千円
歳 出 決 算 額	3 2 9 , 6 0 2 千円
歳入歳出差引額	8 9 , 7 9 5 千円

となっている。

形式収支額は89,795千円で、翌年度に繰り越すべき財源30,158千円を差し引いた実質収支額は59,637千円となっている。なお、実質収支額59,637千円のうち地方自治法第 233条の2の規定により30,000千円が財政調整基金に繰り入れられるものである。

決算規模を前年度と比較すると、歳入で72,986千円、歳出で68,197千円減少しており、形式収支額についても前年度の94,584千円に比べ4,789千円の減少となっている。

歳入が減少した要因は、前年度に比べて繰越金、国庫支出金が増加したものの、分担金及び負担金が減少したことなどによるものである。

一方、歳出が減少した要因は、衛生費で増加したものの、公債費で大幅に減少したことなどによるものである。

(1) 歳入

(単位：千円)

区分 年度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
元	502,729	492,383	492,383	0	0	-10,346
2	417,410	419,397	419,397	0	0	1,987
増減額	-85,319	-72,986	-72,986	0	0	12,333

本年度の歳入決算額は419,397千円で、予算現額を1,987千円上回っており、その執行率は100.5%となっている。

また、調定額419,397千円に対する収入済額は100.0%で、調定額どおり収入済であることを確認した。

款別の歳入決算額は第1表のとおりである。

第 1 表 款別歳入決算額比較表

(単位：千円、%)

区 分	元 年 度		2 年 度		対前年度比較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	291,062	59.1	152,037	36.2	-139,025	-47.8
使用料及び手数料	151,395	30.7	137,386	32.8	-14,009	-9.3
財 産 収 入	247	0.1	215	0.0	-32	-13.0
繰 入 金	3,236	0.7	0	0.0	-3,236	皆減
繰 越 金	30,499	6.2	94,584	22.6	64,085	210.1
諸 収 入	4,642	0.9	4,913	1.2	271	5.8
国 庫 支 出 金	5,802	1.2	30,262	7.2	24,460	421.6
組 合 債	5,500	1.1	0	0.0	-5,500	皆減
合 計	492,383	100.0	419,397	100.0	-72,986	-14.8

第 1 表中、分担金及び負担金は、構成市町からの負担金等で、歳出における所要額から他の収入財源を差し引いた財源所要額を構成市町で負担するものなどである。

本年度の収入済額は 152,037千円で、歳入総額の36.2%を占めており、前年度に比べ 139,025千円の減収となっている。

各構成市町別の負担金の内訳は第 2 表のとおりである。

なお、市町負担金の納付については、規約及び規則の規定に基づき請求されており、市町の分割納付状況は適正に処理されていると認められた。

第2表 構成市町別負担金の内訳

(単位：千円)

区 分		西 脇 市	多 可 町	計	
共通経費	均 等 割 (20%)	1,552	2,328	3,880	
	人 口 割 (80%)	10,295	5,228	15,523	
	小 計	11,847	7,556	19,403	
介審 護査 認会 定費	50%	均 等 割 (20%)	1,457	2,185	3,642
		人 口 割 (80%)	9,661	4,907	14,568
	50%	65歳以上人口割	11,681	6,529	18,210
	小 計	22,799	13,621	36,420	
障審 害査 認会 定費	50%	均 等 割 (20%)	222	222	444
		人 口 割 (80%)	1,177	598	1,775
	50%	身体障害者手帳等の交付数割	1,391	828	2,219
	小 計	2,790	1,648	4,438	
休日 診療 費	50%	均 等 割 (20%)	99	148	247
		人 口 割 (80%)	656	334	990
	50%	利用者数割	1,035	202	1,237
	小 計	1,790	684	2,474	
斎 場 費	均 等 割 (20%)	1,239	1,858	3,097	
	人 口 割 (80%)	8,216	4,173	12,389	
	小 計	9,455	6,031	15,486	
清 掃 費	均 等 割 (20%)	7,380	7,381	14,761	
	人 口 割 (80%)	39,158	19,887	59,045	
	小 計	46,538	27,268	73,806	
合 計		95,219	56,808	152,027	

(2) 歳出

(単位：千円、%)

年度 \ 区分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
元	502,729	397,799	90,881	14,049	79.1
2	417,410	329,602	34,758	53,050	79.0
増減額	-85,319	-68,197	-56,123	39,001	-0.1

本年度の歳出決算額は329,602千円で、前年度に比べ68,197千円減少しており、予算現額に対する執行率は79.0%であるが、繰越明許により34,758千円が翌年度へ繰り越されているため、実質

的な執行率は86.1%となっている。

款別の歳出決算額は第3表、性質別決算額は第4表のとおりである。

第3表 款別歳出決算額比較表

(単位：千円、%)

区 分	元 年 度		2 年 度		対前年度比較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
議 会 費	189	0.0	183	0.0	-6	-3.2
総 務 費	28,715	7.2	31,854	9.7	3,139	10.9
民 生 費	39,640	10.0	36,518	11.1	-3,122	-7.9
衛 生 費	221,632	55.7	261,038	79.2	39,406	17.8
公 債 費	107,623	27.1	9	0.0	-107,614	-100.0
合 計	397,799	100.0	329,602	100.0	-68,197	-17.1

第4表 性質別決算額比較表

(単位：千円、%)

区 分	元 年 度		2 年 度		対前年度比較	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
人 件 費	24,249	6.1	29,973	9.1	5,724	23.6
物 件 費	153,268	38.5	148,789	45.1	-4,479	-2.9
維 持 補 修 費	8,089	2.0	6,636	2.0	-1,453	-18.0
扶 助 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
補 助 費	49,104	12.4	50,702	15.4	1,598	3.3
普通建設事業費	31,069	7.8	65,110	19.8	34,041	109.6
公 債 費	107,623	27.1	9	0.0	-107,614	-100.0
積 立 金	24,397	6.1	28,383	8.6	3,986	16.3
合 計	397,799	100.0	329,602	100.0	-68,197	-17.1

本年度末の組合債の現在高（現金のみ）は、第5表のとおりである。

第5表 組合債の現在高の状況

（単位：千円）

区 分	前年度末 現在高	当年度 発行額	当年度 償還額	当年度末 現在高
一般廃棄物処理事業債	5,500	0	0	5,500

2 財産に関する調書

財産の状況は、次表のとおりである。

区 分	単位	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
土 地	m ²	54,586	0	54,586
建 物	m ²	4,142	0	4,142
物 品	台、式	18	0	18
基 金	千円	197,141	28,382	225,523
財政調整基金	千円	66,029	14,095	80,124
休日急患センター基金	千円	53,091	89	53,180
斎場施設整備基金	千円	78,021	14,198	92,219

3 結び

本年度決算の概要は前述のとおりであり、事務及び予算の執行に際してはその重要性を認識され、健全な組合運営の維持に努められている。

この度の決算審査においては、最初に当該年度の主要事業及び決算の概要の説明を受けたが、審査した限りにおいて、おおむね適正に事務処理が行われていたことを確認した。しかしながら、一部の事務処理で軽微な誤りが見受けられた。今後は十分確認され適正な処理に留意されたい。

(1) 質問事項

ア 斎場使用料が、前年度と比べ減額となった理由を聞いたところ、令和2年4月より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式場の利用制限を行っていることから使用料が減収となっているとの説明を受けた。

イ 回収エネルギー利活用調査支援業務委託料の内容を聞いたところ、新しいごみ処理施設において、ごみの焼却に伴い発生する熱エネルギーの利用を検討するための業務委託であり、内容は、先進地事例の情報収集とその整理、関係する会議の開催に当たっての資料作成等、また廃棄物エネルギーの供給可能量や供給方式を検討し、関係資料をとりまとめるものであるとの説明を受けた。

(2) 財務に関するリスク評価

定期監査時に提出を求めた「財務に関するリスク評価シート」から各課一項目を抽出し、そのリスク発生に対する対応（防止）策等の説明を受け、一部を除き適切に対応されていることを確認した。今後も引き続き、適切な対応に努められ公金（準公金を含む。）等の適正管理に留意されたい。

○主なリスクの内容及び対応（防止）策

業務内容	リスクの内容	対応（防止）策
支払事務	過大過小支出、二重支払	複数人における支払額のチェック体制 支払予定リストの作成
物品の管理	物品の紛失	保管場所の固定、定期チェック、管理リスト作成

※主なものを抽出して表示

(3) 最後に

令和3年3月31日の北播磨清掃事務組合解散に伴い、4月1日から本組合が清掃業務を承継することとなり、またコロナ禍において多様化する市民ニーズへの対応等、各事業の執行に当たっては課題が多いと思われるが、引き続き健全な運営に一層努力されたい。